

# 森林レンジャーがゆく

田んぼで視力検査（実施中！）

(82)



田んぼで稲が成長するこのころは、豊かな水辺環境である水田や湿地などの生き物が活発化します。水辺を調べてみると、ドジョウ、ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエルなどの存在が目立ちます。さらによく見ると、小さな生き物であるゲンゴロウなどの水生昆虫の種類が豊富で「少しだけ見るつもりだったのに、夢中になり何時間も水辺を見続けてしまう」のは、田んぼの素晴らしいところの一つです。

田んぼで最も好きな生き物は、両生類とトンボです。両生類は数種類しか見られませんが、トンボは種類が多く、少しでも時季と環境条件が変わると見られる種類も変わってきます。トンボといえば「アカトンボ」や「オニヤンマ」をよく耳にします。これらはトンボ科やヤンマ科の仲間で、似ている種類が非常に多いため、皆さんが見ているのは、実は色々な種類である可能性があります。

例えば、針のような生き物が「田んぼ上に浮かんでいる」のを見たことがありますか？それは、恐らくイトトンボの仲間だと思えます。イトトンボの仲間の中ではイトトンボ科やアオイトトンボ科の種類が非常に細く、全長



青く輝く「ホソミイトトンボ」

もわずか3 cm程の種類が多いです。よく見ないと気づかないこの生き物は田んぼにいますが、実に美しい種類ばかりで、青や緑、赤などに輝く種類が見られ、絶滅危惧種もこのあきる野で見られます。

現在は、土地利用が変化しているため、水田や湿地は減少しているという悲しい現実があります。貴重な農業文化と豊かな自然が失われて行くのは残念で、農業に対するしっかりしたサポート体制が整わないと、あきる野に限らず、日本の農業と自然の未来が心配になります。

田んぼがどれほど素晴らしいものなのか、もう一度思い出すためにぜひ訪ねてみてください。きっと面白い発見があるに違いありません。（パブロ）